

発熱感染外来について

今秋～冬の新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される中、当院では先んじて令和2年8月12日より、診療時間の一定時間内(16時～17時)を発熱感染外来として開始していましたが、一部の患者さんより強い叱責があり、2日ほど実施したのちに中止を余儀なくされておりました。

再検討の結果、当院では患者さんの動線を分けることに加え、診療する時間も完全に分けることで、現在当院を選ばれて通院中の患者さんに一層の安全を提供し、かつ、今秋～冬に発熱等を罹患しても受診先に極力困られないよう配慮することと致しました。

また、冬場は窓を開放できない状況になりますが、当院では院内の吸気口・排気口からの常時換気を行い、診療時間中の待合室・診察室、および発熱感染外来ブースにおいては、**新型コロナウイルスにも不活性化効果の証明されている日機装技研株式会社製の深紫外線空気清浄機を設置し**、診療終了後は30分以上の室内紫外線照射を行うことと致しました。

令和2年10月12日月曜日より、夕方17時まで(受付は16時30分まで)を今まで通りの一般診療とし、10月21日水曜日より、それ以降の時間を「発熱感染外来専門」と致します。

新型コロナウイルス感染症の収束・終息がうかがえるまでは、この体制で行って参ります。

今まで都合上17時以降のみにしか来院できなかった当院かかりつけの患者さんには、多大なご迷惑をおかけすることとなりますが、今回の一連のコロナ騒動により「新しい生活様式」へと時代が強制的に変わり、今までと同様の診療をすることが出来なくなりつつあり、苦渋の決断と致しました。該当する患者さんにおかれましては、謹んで受診していただくお時間・曜日の変更のご検討をお願い申し上げます。それでもなお通院時間が確保できない場合には、ご都合の合う他院への紹介状も作成致しますのでご用命下さい。

なお、当院の発熱感染外来は、**普段から当院に定期通院をされている、かかりつけの方を最優先と致します**ので、予めご了承下さい。

また、発熱というおつらい状況下ではありますが、受診される患者さんの人数によっては、後続する説明の通り、**受診から会計までに、1～2時間を要しうることを予めご了承のうえで**、受診するか否かを予め十二分にご検討下さい。病状の強度によっては当院を経ることなく、地域基幹病院の救急外来受診も選択肢に入れてご検討ください。

当院周辺の地域医療を守るため、今後とも出来る範囲であらゆる手段を講じて参ります。何卒宜しくご高配下さいますようお願い申し上げます。

【開始時期】

令和2年10月21日 水曜日

【電話受付時間等】

月曜日、水曜日、木曜日の午前9時～午後12時に限ります。

火曜日、土曜日、休診日は発熱感染外来を設置しませんので受付も行いません。ご注意ください。また、1日の受診人数に上限があり、また、検査キットが流通等の関係で欠品している場合など、受付時間内であっても、受付を終了していることがあります。あしからずご了承下さい。

【対象となる患者さん】

- ① 当院に定期的に通院している患者さんで、
- ② 日本語によるやりとりが出来る方(通訳の付添いでも可)のうち
- ③ 自分が使用できる携帯電話をお持ちで、
- ④ 原則的に現金での支払も可能で(状況によりカード決済等が不可能な場合があります)、かつ、以下のいずれかの症状の方

- ① 受付日までの2～3日に、37度5分以上の発熱のある(あった)方
- ② 受付日までに咳を継続的にしている方
- ③ 受付日時点で呼吸困難・息切れのある方
- ④ 受付日時点で明らかな味覚・嗅覚異常のある方

【発熱感染外来の受診の流れ】

1. 当院診察券をご準備の上、電話受付時間内(月・水・木の午前9時～12時)に、当院電話番号 045-823-8008 におかけ下さい。

上記①～④のいずれかの症状があることをお伝えください。

当院の発熱感染外来においては、原則的に全例、新型コロナウイルス抗原検査(鼻腔に綿棒を挿入します)を、また、一定以上の流行期においては、インフルエンザ抗原検査(鼻腔にもう1本綿棒を挿入します)を行いますので、予めご了承下さい。

ただし、流通の停止等による検査キット不足等で、発熱感染外来自体を受理できない場合がございます。



2.受付職員から、数個のご質問を行いますので、予めご準備の上、ご回答下さい。

※当院の診察券番号

※携帯電話の所持の有無、および携帯電話番号

※待ち時間が1～2時間と長い可能性の同意

※来院方法（徒歩、自家用車等）

※現金での支払が可能か

※インフルエンザ予防接種を受けたクリニック・病院名 など



3.受診する上で特段の問題が無ければ、来院時間(16時半～17時以降)を指定致します。保険証・診察券のほか、当院付近に到着後は携帯電話での連絡となりますので、上記で指定された携帯電話を必ずお持ち下さい。



4.指定の時刻に当院付近に着きましたら、指定の携帯電話に当院より連絡致します。当院の発熱感染外来入口への入り方を説明致します。

- ①下写真を参考にして頂き、発熱外来入口の呼鈴を押すよう、当院より指示致します
- ②事務員は接触しないようにするため、対面による直接の対応は致しません。中から自動解錠致しますので、ご自身で開扉して中にお入り頂き、入って左手の細く長い廊下を奥まで進んで頂きます。
- ③奥まで進むと専用の待合が1席ありますので、診察室から呼び入れがあるまで、そちらでお待ちください。



©Google Earth



5.準備が出来ましたら、診察室内より、個人用防護具（PPE）を装着した診療所長が呼び入れ致します。診察券および保険証をお預かりします。**こちらの部屋では、問診等を行わず、抗原検査のみを先行して行います（問診・診察は結果が出た後で行います）。**鼻腔に綿棒を挿入し、鼻腔粘膜の粘液を採取します。



6.順番待ちの番号札をお渡しします。結果が出るまでしばしお待ち頂きます。**この結果待ちに1時間程度の待ち時間が発生します。**

原則的に、院外で、もしくは自家用車で来られた方は自家用車内で、お待ち頂くこととなります。結果が出ましたら指定の携帯電話にご連絡し、以後の対応をご説明致します。

院内でも待つための場所を設けてはありますが、他の発熱感染疑い患者さんと同一の場所でお待ち頂くこととなります。プライバシーを気にする方や、感染症に対して神経質な方は、院外で待たれることをおすすめ致します。

7.上記以降の手順については、当日の指示に従って下さい。